　新しい「学び」とふくしま高校生社会活動コンテスト

2016年11月26日　REASE公開講座

福島の高校生が日本を元気にする 3

ふくしま学びのネットワーク事務局長・東京大学特任研究員

前川直哉

１．20年後の日本

・ロボットと人工知能（ＡＩ）の時代。

　→ホワイトカラーの仕事の多くが、人工知能（ＡＩ）に置き換えられることが予想される。

・ロボットや人工知能（ＡＩ）にはできない仕事＝自分で課題を発見し、解決する仕事

　→暗記中心・ロボット型の勉強から課題発見・解決型の「２１世紀型学び」が重要に。

２．福島で胎動する「新しい学び」

・いま、福島で学ぶ意義

１）世界最先端の「知」が集まる場所

２）カッコいい大人が集まる場所

３）割り切れないことを、割り切れないままに考え続けることが必要な場所

４）若者が活躍できる場所

３．社会活動コンテスト

・2016年9月25日、福島テルサにて開催。

結果は次ページの通り。

【2016　ふくしま高校生社会活動コンテスト　結果】

★最優秀賞

福島高校 福島復興プロジェクト 土湯魅力創造班（福島県立福島高等学校）

　「福島復興プロジェクト　土湯魅力創造」

★東京大学REASE賞（優秀賞）

ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））（学校の枠を超えたグループ）

　「ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））」

★ふくしま学びのネットワーク賞（優秀賞）

福島県立新地高等学校　新地駅前プロジェクト（福島県立新地高等学校）

　「新地駅前プロジェクト in 新地高校」

★審査員賞　※50音順、重複受賞あり

ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））（学校の枠を超えたグループ）

　「ガチリン（わかりやすいプロジェクト（国会事故調編））」

チーム「Future」（個人）

　「広野町の課題解決へ向けて」

福島県立新地高等学校　新地駅前プロジェクト（福島県立新地高等学校）

　「新地駅前プロジェクト in 新地高校」

福島高校ダイバーシティ（福島県立福島高等学校）

　「福高ダイバーシティ」

福島高校 福島復興プロジェクト 土湯魅力創造班（福島県立福島高等学校）

　「福島復興プロジェクト　土湯魅力創造」

主催　一般社団法人 ふくしま学びのネットワーク

　　　東京大学ＲＥＡＳＥ（研究代表者：東京大学大学院経済学研究科 教授・松井彰彦）

後援　福島県教育委員会

協賛　認定ＮＰＯ法人福島１００年構想委員会、福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」